

【 編集後記 】

今回の熱測定は、論文1件、学会賞受賞研究を含めた3件の解説と1件のノートを掲載しており、通常より少ない記事数での発刊となりました。これは、先の東日本大震災で執筆者の一名が影響を受けられ、脱稿遅延の申し出を頂いたためです。震災発生から3カ月となりますが、その影響が直接的、間接的に続いており、様々な制約の中で、学会員、学会関係者も過ごしていることと改めて思っています。熱工学を専門とする機械系の研究者としては、今夏の電力不足問題の目途も立たない状態に、自身の研究が社会で役立っているのかと自問する機会も増えました。学会員の方々も、科学技術と社会の関係も含め、研究や教育、分析、評価業務等の意義、役割などを再考する機会を持たれたことと思います。

今号の記事に目を向けると、テフロン樹脂等として利用しているフッ素化共重合体の結晶化挙動と造核剤添加効果（論文）では、高性能な材料設計にナノ、ミクロの視点と熱分析の視点が活用される様子が興味深く、温度変調DSCの特徴と面白さが解説された学会賞解説記事では、遅い動的過程の計測など、新しい熱分析装置が物質から新たな情報を取り出す重要なツールとなるのが分かります。非晶質固体分散体の表面の構造緩和を利用して薬の溶出速度の評価につなげる解説では、効き目の高い医薬品開発には高度な物質輸送操作が必要であり、バルクに比べ難しい粉体表面の分析が有効なことを教えています。核融合の中核技術としてのトリチウム生成物質の設計・評価の解説は、夢のエネルギーの実現に近づく着実な技術開発と位置付けられますが、原子炉事故の影響が広がる現在では、日本熱測定学会もエネルギー利用の在り方に関連し、軽くない責任を背負い、果たせる役割をしっかりと果たす必要があると感じました。

(中別府 修)

【複製される方へ】 Notice about photocopying

本会は下記協会に複製に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複製したい方は、同協会より許諾を受けて複製して下さい。但し(社)日本複製権センター(同協会より権利を再委託)と包括複製許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複製はその必要はありません。(社外頒布用の複製は許諾が必要です。)

権利委託先：(中法)学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル, TEL. 03-3475-5618, FAX. 03-3475-5619, E-mail: info@jaacc.jp
なお、著作物の転載・翻訳のような、複製以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、直接発行団体へご連絡ください。また、アメリカ合衆国において本書を複製したい場合は、次の団体に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc., 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, U.S.A.
TEL. +1-978-750-8400, FAX. +1-978-646-8600

2011年度「熱測定」編集委員会

(委員長) 猿山 靖夫

(編集委員) 乾 隆, 小川 英生, 川上 亘作, 清水 由隆, 中別府 修, 橋本 拓也

(拡大編集委員) 内山 進, 神崎 亮, 林 英子, 本多 英彦, 三木 久美子

熱測定 Vol.38, No.3, 2011

平成23年6月25日 印刷

昭和52年5月27日 第4種郵便物(学術刊行物)認可

平成23年6月30日 発行

発行人 日本熱測定学会 吉田 博久

事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-6-7 宮沢ビル601

TEL. 03-5821-7120 FAX. 03-5821-7439 E-mail: netsu@mbd.nifty.com

熱測定原稿 E-mail: edit@netsu.org

学会ホームページ <http://www.soc.nii.ac.jp/jscta/index.html>

郵便振替口座 00190-5-110303

